

人・自然にやさしい 道路の整備

第二名神高速道路は、最新の工法を採用し工事が進められているのはもちろんのこと、現場掘削により搬出された自然石の活用や、貴重植物の保存など環境保全とコスト削減の調和のとれた「人と自然にやさしい道路」の整備を行っています。

環境の保全と自然の再生

山の再生

出現する切り土のり面に尾根、沢を形づくり、周辺に馴染む地形を再生します。



チップマルチング

現場で発生した木材を細かくチップ化し、のり面の表面に敷き詰めることで表土の流出を防ぎ、廃棄物の有効活用を図っています。

川の再生

現地の岩盤や発生する自然石を活用して、付替河川「隼人川」の美しい溪流を再生します。



隼人川の付替え

人々に親しみ、生き物にもやさしい河川作りを行っています。岩の露出を生かした小さくランダムな落差工や河床、水の流れに変化を与える寄せ石、また護岸には現地発生の自然石を活用しています。

森の再生

現地表土などを活用し、自生種による生物多様な豊かな森を早期に再生します。また、工事区域の貴重植物を保全します。



貴重植物の保全

第二名神のルートには、多くの貴重動植物が生息しています。表土をまるごと移設したり、動植物を移動・移植させることで、保全に努めています。

文化の再生

現場で発生する自然石を活用し、地域の伝統である「穴太衆積み」を工事に取り入れ、地域文化の伝承を図ります。



東海自然歩道の付け替え

訪れるハイカーの視点に立って、道づくりを考えました。周囲の樹林化、適度なアップダウン、水辺や眺望の開けた場所、また穴太衆積み石垣を取り入れ、地域の自然や伝統文化に親しめる空間を演出しています。

第二名神高速道路.....



DAINIMEISHIN EXPRESSWAY
DAINIMEISHIN EXPRESSWAY

Q

第二名神高速道路ができると
どれだけの時間短縮になるの

A

草津ジャンクションから愛知県豊田ジャンクションまでの所要時間は、時速80kmで走行して、現在の名神高速道路では約2時間、第二名神高速道路経由（第二名神高速道路、東名阪自動車道、伊勢湾岸自動車道）で行くと約1時間30分と約30分の短縮になります。

また、大津市から中部国際空港までの所要時間も、名神高速道路経由で約2時間15分が、第二名神高速道路経由では1時間45分に短縮されます。

Q

大津から西、亀山から東の
区間の開通は？

A

亀山から名古屋方面及び大津市から神戸市までの区間は、今後全線供用開始予定の平成34年度までに順次整備されて行く予定ですが、大津～城陽、八幡～高槻間については周辺高速道路の供用開始後の交通状況を見て改めて事業の着工について判断するという方針が出ています。



●甲賀市役所 建設部 国県事業課

電話 65-0726 FAX 63-4601

問い合わせ

●西日本高速道路(株) 関西支社 大津工事事務所 電話077-547-2345(代) FAX 077-548-1351

●中日本高速道路(株) 名古屋支社 亀山工事事務所 電話0595-83-4811(代) FAX 0595-83-4800